

# 木材ジャーナル名古屋・せいぶ

平成30年4月号 No.131

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

## 名古屋港木材産業協同組合 第43回通常総会開催される 今年は、西部木材港開港50周年

名古屋港木材産業協同組合の第43回通常総会が、平成30年3月26日（月）午後1時から名古屋港木材会館会議室で、委任状を含め57名の組合員が出席し開催されました。

総会は、嶺木理事長を議長に選出し、次の議案を審議し、いずれも原案通り可決されました。

### 議事の概要

**第1号議案** 第43期事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案について

**第2号議案** 第44期事業計画・収支予算について（事業計画の要旨）

- ①名古屋港木材協同組合の事務所を、名古屋港木材会館に置き、会館の会議室を組合員及び地域の住民の利用に供する。
- ②名古屋港西部臨海地帯の諸問題について、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と、官公署側協議組織である「飛島村臨港地区連絡協議会」との協議により解決に努める。また、西部臨海工業地帯防犯協会を通じて、暴走族の排除、地域の犯罪予防及び治安の維持、名古屋港西部臨海地帯の発展に努める。
- ③名古屋木材港利用推進協議会を通じて、名古屋木材港の円滑な運営と利用推進を図る。また組合員の貯木場の使用やこう門の使用について、名古屋港管理組合と協議調整を行い、組合員の利便を図る。
- ④西部木材港開港50周年を記念し、様々な行事・事業を企画し遂行する。
- ⑤名古屋木材港再編整備協議会に出席し、港湾計画改定に反映させるため、将来の西部木材港の在り方について意見を述べる。
- ⑥組合員の経営技術等の改善向上、労働災害の防止のための情報を提供し安全衛生パトロールの実施、「広報 木材ジャーナル名古屋・せいぶ」を定期発行する。



- ⑦組合員に対する福利厚生事業として、名古屋木材健康保険組合の事業を後援又は共催し、保険・レクリエーション事業に参加する。

**第3号議案** 経費の賦課及び徴収方法並びに加入手数料その他決定について

賦課金	平等割（組合員一律）	20,000 円
	面積割 1㎡あたり	2 円
	水面割 1㎡あたり	1 円

**第4号議案** 名古屋西部木材港開港50周年記念事業について

記念パーティーを平成30年10月29日（月）キャッスルプラザホテルで行うほか、記念誌の発行や記念植樹を行うことを決定しました。

**第5号議案** 理事及び監事の選挙について

今回の通常総会をもって理事及び監事の全員が任期満了となるため、理事13名及び監事2名の選挙を行った結果江口久典理事が新任のほか、他の役員の方々が再任されました。

また、総会後に開催された理事会で、嶺木昌行理事長、鈴木龍一郎副理事長、服部伸一副理事長、西垣洋一副理事長が選任されました。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

## 今年 は 西部 木材 港 開港 50 周年

今年 は 名古屋 西部 木材 港 が 開港 して 50 周年 に あたり ます。これ を 記念 して 10 月 に は 記念 パーティ ・ 記念 誌 の 編集 を 企画 して います。これ から 数回 に 亘って それ を 記念 する 投稿 を 掲載 さ せて いただく 予定 です。第一 回は、元 名古屋 港 木材 産業 協同 組合理 事長 の 笠木 和雄 様 に お願 い しまし た。

## 1

## 「ラワン」と「スギ」と。

笠木 和雄

(元 名古屋 港 木材 産業 協同 組合理 事長 任期：平成 12 年 4 月～16 年 3 月)

わが国の森林は、太平洋戦争中の過伐、乱伐ですっかり荒廃し、戦後の復興と建設に必要な木材を供給出来なかった。高度成長が始まった1955年(S.30)頃からは、海外からの木材輸入が年々増大した。東南アジアからは合板製造や板材用のラワンやアピトン等の広葉樹、北米からは柱や梁・桁用のベイマツやベイツガ等の針葉樹が主だった。そしてその殆どが原木・丸太での輸入で東京、大阪、名古屋をはじめ多くの港湾には工場が建設され製材、合板等の資材が全国に供給された。「昔から木材は山から来たが、今は海から来る。」と言われたのはこの頃だ。

ラワンはフタバガキ科の高木でフィリピンの呼び名、マレーシアではセラヤ、インドネシアではメランティーと呼ばれる。

ことにミンダナオ島のラワンは良質で、厚さ4mmの「ドアスキン」用合板は外貨獲得の花形だった。厚さ2.3mmの3×6版は、国内でかなり「だだくさ」に大量に使われていた。

良質のラワン丸太が無くなるとルソン島の堅いラワンやマレーシアのセラヤでコンクリートの型枠用合板(コンパネ)を大量に製造した。この辺のことは深田祐介の小説「炎熱商人」に詳しい。

原木の輸入は1975年(S.50)頃をピークとして次第に少なくなり、インドネシアを始め東南アジアの国々は原木の輸出を禁止して、徐々に製品輸出に切り替わった。戦後の日本の復興・建設、そして力強い経済成長は実にこの「ラワン」のおかげと言えるのだ。「ラワン」には感謝しなければならない。

そしてこの50年以上の間、国産材はどうしていたのか。スギを植えて、植えて植えまくっていたのが実情である。その結果は公害ともいえる花粉症の蔓延である。

私が先輩・後輩である林業関係者に「昔からのスギの林業地は別として、雑木林にスギばかりを植えるのはよくない。」「1920年代にNZ国が研究してカルフォルニア原産のラジアータ松を導入したことを見習ってスギの次を探さなければいけない。」と30年も前から言い続けている。答えは「花粉の少ないスギを植えています」だ。

## ◆ 合縁木縁 ◆

## 「バードウォッチング」

自分の趣味は「バードウォッチング」である。

普段は、身近な生活の場にいる鳥の様子を主に観察しているが、学生の時は、弥富野鳥園に足を運び、よく園内の鳥を観察していた。

そんな自分は昨年、弥富野鳥園に程近い櫻井木材加工(株)に、ご縁があり入社することになった。たまに休憩時間に会社近くの鳥を観察するのだが、なかなか興味深い。例えば木場に浮かんでいる丸太に鳥が集まっているので観察してみると、丸太の上で休んでいるだけでなく、丸太に生えているコケを食べに来ていたことが分かった。また駐車場にいた鳥の羽の色から、今年生まれの鳥を見つけ、近くで巣立ったのかな?と思う。それらが興味深いのである。

話は変わるが先日上司との同行で、木材を扱っている倉庫・会社様の付近を通りかかった時のことである。上司が車を運転しながらそこに置いてある木材の種類・材質などを、間近で見えていないのにすらすらと話していて、自分自身勉強不足だと痛感した反面、「バードウォッチング」のことがふと思いついた。自分も鳥を観察するようになる前は、目の前を通り過ぎた鳥や木に止まっている鳥が何か分からず、後で人に聞いたり図鑑を読み返して覚える時期があった。そうやって知識を身につけてきたことで、今では周りにはいる鳥のことが分かるので、見える世界が変わって、何気ないことで楽しめるようになり、人に教えることもできるようになった。今後木材の知識を身につけていくことで、今まで見ていた世界がどのように変わって見えるのかという期待感が沸くと共に、そこで何ができ、お客様にどのような提案ができるのかなということを最近よく考える。

もうすぐ入社して1年になり、まだまだ勉強不足で社内や協力工場様、お客様に教えてもらってばかりだが今後もよく木材を観察し、知識を身につけ、お客様のお役に立てるような提案ができるように、これからも頑張っていきたいと思う。

今回は、吉村製材(株) 伊里 友宏氏にお願いします。

## ◆ 自遊ご異見番 ◆

## 「酷道(こくどう)」

決してマニアではないことをお断りしておくが、今はスマホで簡単に地図を出しナビ替わりをしてくれる。時にこの画面を信用してえらい目に合うこともある。

一昨年11月、すでに寒さを感じる早朝から東海北陸道を北上し、郡上で降りて国道156号線を白川郷から富山県南砺市の世界遺産五箇山を巡った。すでに時計は2時を回っていた。そろそろ南にハンドルを切らなければならない時間であり、一服しながらスマホをながめてルート確認。同じ道で帰るつもりもなく、国道41号線に出て高山経由で帰ろうと目に入った国道471号線。これがまずかった。ヘルメットを被り小寒い中、国道156号線を外れ、知らぬが仏の「酷道」の領域に踏み込んだ。

ただでさえ田舎である。山に入っていくと当然ながら標高は上がり、だんだんそれっぽく寂しい景色に変わる。比較的広い快走路が、やがて民家も減り木々の間を抜ける林道になっていった。何の違和感も持たず3時を回ったところである。開いていた冬季通行止めの封鎖柵を越えると急激に道が荒れて狭くなり、雰囲気が変わった。内心はさっさと峠を越えたいばかりで、実はかなり焦っていた。途中、軽トラに乗った山仕事にきたであろう叔父さんに声をかけた。高山へのルートを聞いたとき2時間はかかるという言葉に“今からこの道を走るのか?”間違いなく目つきがそう言っていたが、ここまで来たら戻れないし、とにかく走った。すれ違う車も、追いかけてくる車もない。わずかずつだが標高も上がっている。ちょっと落ち着こうと初めての休憩。途中、はっきりと記憶に残っている小さな赤い橋を渡ったところがあった、びっくりするほどきれいな川の堰堤の横でエンジンを切った。まったく落ち着かない。静かすぎて気味が悪い、というより怖い。若いときは平気で溪流釣りに入った山もクマが出そうで行けなくなった。今はどこからでも出そうな深い山の中。急いでヘルメットを被りエンジンをかけた。陽が山に落ちはじめ、暗くなりかけたとき峠を越えた。しかし百メートル下って眼前が開けたとき愕然とした。遙か彼方まで幾重にも連なる見事な山並みに、生きて帰れるのだろうかと思いついて泣いてきた。

完全に暮れた国道をひたすら集中して駆け下った。急激に標高が下がり現実感が湧いてきたとき、家から漏れる灯りが見えた。まともな「国道」に出て、下りられたというより助かったという気持ちに満たされた。ここがマニアの間で有名な「酷道」であることを知ったのは日付が変わった翌日であった。



## 飛島村観光交流協会設立記念イベント とびしまルシェ開催

飛島村に観光交流協会を設立して、飛島村の特産物や商店、観光素材を村民、近隣エリアに広く知ってもらおうと「とびしまルシェ」が3月25日(日)午前10時から、飛島村役場前の駐車場を会場に開催されました。

当日は、12の物販ブース、16の村内飲食店ブースの他、海部地区&友好自治体ブースなどが立ち並び10時に開会された飛島村観光交流協会設立総会を皮切りに県内の来賓の方々に参加してのテープカットでオープンしました。

早くから飲食、物販ブースの前には、来場者の皆さんが並ばれ一日で1,355名が来場され、交流協会の設立を祝いました。



テープカットで飛島村観光交流協会の設立をお祝いする関係者の皆さん

### ☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

## ターゲットは50～60歳代！

3月に入り、依然として架空請求詐欺のハガキや還付金等詐欺の被害が発生しています。

#### ☆☆架空請求詐欺のハガキ☆☆

被害者は94%が50～60歳代の女性です！

不審な訴訟最終通知等のハガキが送られてきたら、**無視する、連絡しない、振り込まない!!**

#### ☆☆還付金等詐欺☆☆

被害者は60歳代の被害者がほとんどです！

役所を騙り、「医療費の還付金があります」などと電話があった場合は詐欺です。

**ATMで還付金手続きはありません!!** 万が一に備えてATM振込制限の設定をお願いします。

## ◆ 広告コーナー



「プレカット」と「木工機械」の  
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

快適な環境づくりに取り組む

# INOUE

■ バグフィルター集塵機	■ 破砕機 ウッドグラインダー	■ 木質ペレット製造装置
■ サイクロン集塵機	■ 粉碎機 ファンシュレッター	■ プリケット
■ 定量排出装置	■ 火花探知器・安全装置	■ 送排風機
■ トラック積載装置	■ 異物除去器	■ ダクト部品

**井上電設株式会社** | 名古屋市中区金山4丁目3-17  
TEL (052) 322-5271  
FAX (052) 332-5273

<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail: [tech@inoue-d.co.jp](mailto:tech@inoue-d.co.jp)

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会